

組織のブランドと信用を守る

Microsoft 365 Compliance

エディフィストラーニング株式会社

eDiscovery & Audit

本章で紹介する内容

1



Insider Risk Management

重要な内部リスクを特定し、
対策を講じます

2



Information Protection & Governance

データのライフサイクルを通じて
データを保護し、統治します

3



eDiscovery and Audit

関連データの迅速な調査と
対応を可能とします



Compliance Management | コンプライアンスの簡素化とリスクの低減

この機能を紹介します。



コアeDiscovery



Advanced eDiscovery



Advanced Audit



eDiscoveryとは

- 訴訟に関する資料を自らが収集し、開示する制度のことで、米国民事訴訟の手続きのひとつです。
- 米国民事訴訟手続きは、次のプロセスで行われます。



!
米国に拠点のある会社や米国企業と取引をする会社、ドル取引をする会社などが対象になるため、米国に拠点がなくても対象となります。



過去20年分もの情報開示を要求される場合もあります。

eDiscoveryの対象となるデータ

• eDiscoveryの対象となるのは、次のような形式のデータです。

- ✓ 電子メール
- ✓ ドキュメントファイル
- ✓ プрезентーションファイル
- ✓ スプレッドシート
- ✓ テキストファイル
- ✓ チャットメッセージ
- ✓ CADデータ
- ✓ 画像データ
- ✓ バックアップデータ
- ✓ 役職員のデバイス内のファイル
- ✓ 部署のファイルサーバー
- ✓ 外部記憶媒体に保存されたファイル
- ✓ クラウドサービスに保存されたファイル



日本国内のデータセンター・拠点内のデータも対象となります。

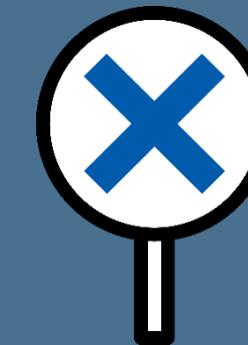


eDiscoveryの重要性

• eDiscoveryによって、証拠のほとんどが揃うため公判の結果を左右する非常に大事な手続きです。



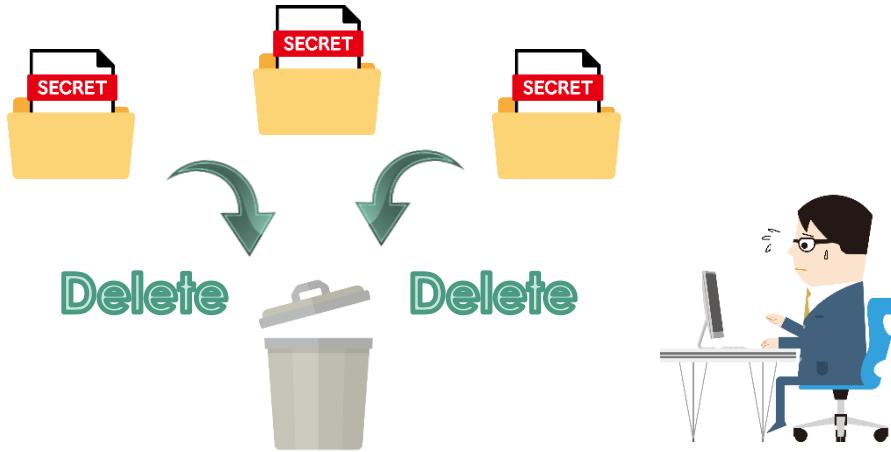
違反すると
厳しい罰則があります。



eDiscoveryの違反例

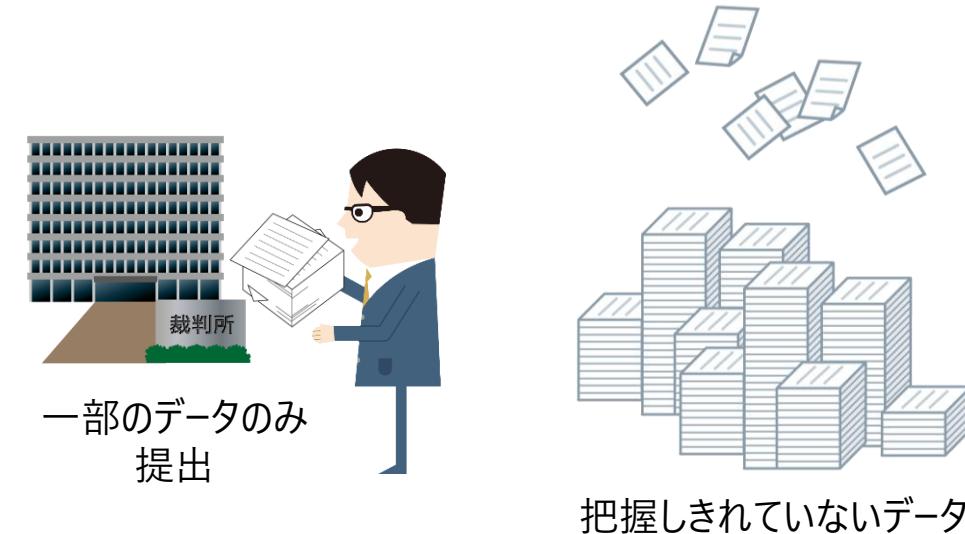
- 次のようなことは、違反とみなされます。

証拠保全義務が生じた後のデータ改変や削除



証拠保全義務が生じた後に、関連する電子メールを削除したりファイルを改変したりすると証拠隠滅とみなされ、多額の賠償金が課される場合があります。

一部のデータのみを提出

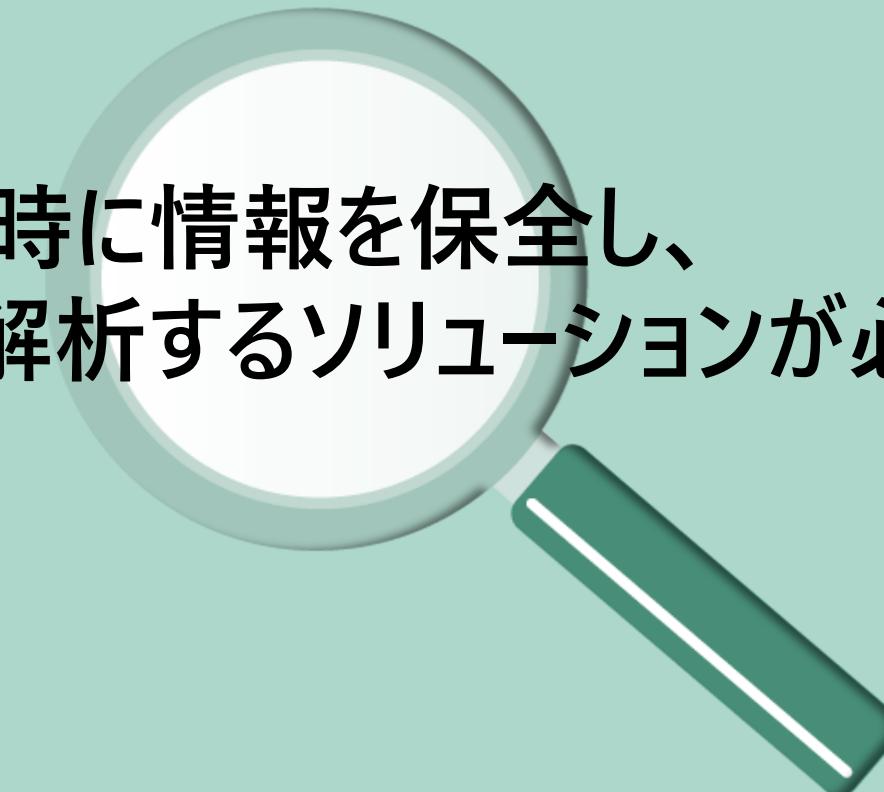


公判に有利/不利関係なく、関連する情報はすべて提出する必要がありますが、一部のデータのみを提出すると不利な情報を故意に隠匿したとみなされ、弁論時間を大幅に減らされるなど公判に不利な状況になります。

デジタルフォレンジックソリューションの必要性



必要な時に情報を保全し、
調査、解析するソリューションが必要です。



Microsoft 365のeDiscovery(電子情報開示)

Microsoft 365のeDiscoveryなら、
証拠の保全、検索、エクスポートが可能です！

eDiscovery



eDiscoveryの種類

 eDiscoveryには、次の2種類があります。

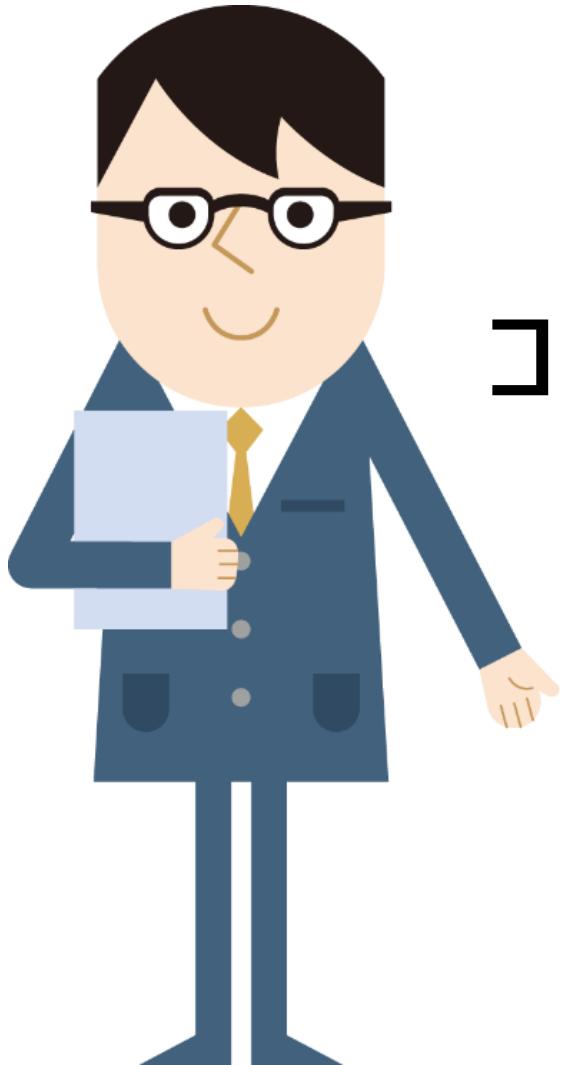
■ コア

- 基本的なeDiscoveryであるケースの作成、コンテンツのホールド、コンテンツの検索、エクスポートなどが含まれます。

■ Advanced

- コアの機能に加えて、レビュー設定やケースデータの分析などを行うことができます。

最初に



コアeDiscoveryから紹介します。

5-1 コアeDiscovery

コアeDiscoveryの構成プロセス

- コアeDiscoveryを使用すると、訴訟で証拠として使用する電子的情報を検索したり、保留したりすることができます。コアeDiscoveryの構成手順は次の通りです。



参考：コアeDiscoveryを使用するために必要なライセンス

 コアeDiscoveryを使用するには、次のライセンスが必要です。

- ✓ Microsoft 365 E3
- ✓ Office 365 E3

参考：コア電子情報開示を開始する

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/compliance/get-started-core-ediscovery?view=o365-worldwide>

Step1：アクセス許可の付与

- Office 365セキュリティ&コンプライアンスセンターで適切な電子情報開示関連のアクセス許可をユーザーに割り当てます。

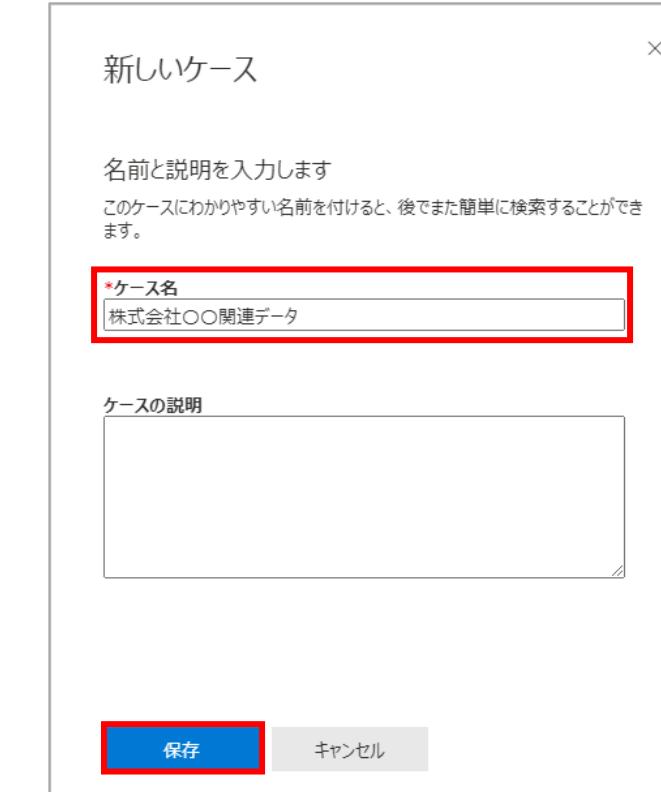
The screenshot shows the Microsoft 365 Security & Compliance Center interface. The left sidebar has a dark theme with various navigation options like Home, Alerts, Access Permissions (which is selected and highlighted in grey), Categories, Data Loss Prevention, Record Management, Information Governance, Monitoring, Risk Management, Mail Flow, and Data Privacy. The main content area is titled 'Access Permissions' and shows a list of roles with checkboxes. The 'eDiscovery Manager' role is highlighted with a red box. Other listed roles include Data Investigator, Global Reader, Insider Risk Management, Insider Risk Management Admins, Insider Risk Management Analysts, and Insider Risk Management Investigators.

電子情報開示に関連するロール

- ✓ **レビュー担当者(Reviewer)**
Office 365セキュリティ&コンプライアンスセンターの電子情報開示ページで自分が所属しているケースのみ、ケースのリストを表示して開くことができます。また、Office 365 Advanced eDiscoveryでケースデータの表示とアクセスを行えます。
- ✓ **電子情報開示マネージャー(eDiscovery Manager)**
電子情報開示のケースを作成して管理できます。ユーザーは、メンバーを追加および削除したり、コンテンツの場所を保持状態に配置したり、ケースに関連付けられたコンテンツ検索を作成および編集したり、コンテンツ検索の結果をエクスポートしたり、高度な電子情報開示で分析のための検索結果を準備したりできます。

Step2：新しいケースを作成する

- 新しいケースを作成するには、次の手順を実行します。



[Microsoft 365コンプライアンスセンター]で、[電子情報開示]-[コア]をクリックし、[ケースを作成]を選択します。

ケース名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

Step3：コンテンツの場所を保留する -1

- コンテンツの場所を保留するには、次の手順を実行します。

The screenshot shows the 'Core eDiscovery' interface. At the top, there's a message about creating a case and specifying access rights. Below it, there are buttons for 'Case creation', 'Export', 'Update', 'Open Case' (which is highlighted with a red box), and 'Share'. A green arrow points from this section to the next screenshot. The main area shows a list of cases, with one entry for '株式会社〇〇関連データ' selected and highlighted with a red box. Other entries include 'Teams Contents' and 'TEST 年代'. At the bottom, there's a 'Development Code' section.

ケースのチェックボックスをオンにし、[ケースを開く]をクリックします。

The screenshot shows the 'Core eDiscovery' interface with the 'Retention List' tab selected. At the top, there are buttons for 'Home', 'Retention List' (highlighted with a red box), 'Search', 'Export', and 'Advanced eDiscovery'. A blue arrow points from the previous screenshot to this one. The main area shows a 'Create' button (highlighted with a red box) and a 'Latest information updated' button. There's also a search bar and a 'Name' input field.

ケースが開いたことを確認し、[保留リスト]タブを選択します。[作成]ボタンをクリックします。

Step3：コンテンツの場所を保留する -2

新しい保留リストの作成

● 保留リストの名前を設定
● 場所の選択
● クエリの作成
● 設定を確認

保留リストの名前を設定

名前 *
SharePointドキュメント保留

説明
ポリシーのわかりやすい説明を入力してください

次へ キャンセル



新しい保留リストの作成

● 保留リストの名前を設定
● 場所の選択
● クエリの作成
● 設定を確認

場所の選択

場所	含む
Exchange メール	なし ユーザー、グループ、またはチームを選択
Office 365 グループのメール	
Skype for Business	
Teams のメッセージ	
To-Do	
Yammer の会話 (ベータ) △	
SharePoint サイト	1 件のサイト [サイトを選択]
OneDrive フォルダー	
Office 365 グループのサイト	
Teams のサイト	
Yammer ネットワーク (ベータ) △	



保留リストの名前を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

保留したい場所を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

Step3：コンテンツの場所を保留する -3

The image shows two screenshots of the Microsoft 365 Compliance 'New Retention List' wizard. A green arrow points from the left screenshot to the right one.

Left Screenshot (Query Conditions):

- Header: 新しい保留リストの作成
- Left sidebar: 保留リストの名前を設定 (checked), 場所の選択 (checked), クエリの作成 (unchecked), 設定を確認 (unchecked).
- Content: クエリの条件 (Query Conditions) window.
 - Input field: * キーワード (Keywords) containing '契約書' (Contract). This field is highlighted with a red rectangle.
 - Buttons: 戻る (Back), 次へ (Next), キャンセル (Cancel).

Right Screenshot (Review Settings):

- Header: 新しい保留リストの作成
- Left sidebar: 同じ構成 (checked), 場所の選択 (checked), クエリの作成 (checked), 設定を確認 (unchecked).
- Content:
 - Policy Name: SharePoint ドキュメント 保留 (SharePoint Document Retention)
 - Description: 次の場所のコンテンツに適用 (Apply to the following location): SharePoint サイト (SharePoint Site).
 - Query Conditions: キーワード 契約書 (Keywords Contract).
 - Buttons: 戻る (Back), この保留リストを作成 (Create this retention list), キャンセル (Cancel).

クエリ条件やその他の抽出条件を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

設定内容を確認し、[この保留リストを作成]ボタンをクリックします。

Step4：コンテンツの検索を作成して実行する -1

- 保留したコンテンツを検索するには、次の操作を実行します。

Microsoft 365 コンプライアンス

株式会社〇〇関連データ > コア ED > 検索

ホーム 保留リスト 検索 エクスポート Advanced eD

+ 新しい検索 + ガイド付きの検索 + ID のリストで検索 + 最新の情報に更新

名前 説明

[検索]タブを表示し、[新しい検索]ボタンをクリックします。

ホーム 保留リスト 検索 エクスポート Advanced eDiscovery に切り替え

保存した検索に戻る + 新しい検索 保存 開く...

検索クリエイター コンテンツの検索でキーワードと条件を使用する方法のヒントについては、[ここをクリックしてください。](#)

ヘ キーワード
キーワードを入力します
 キーワード一覧を表示
+ 条件の追加

ヘ 場所: 保留になっている場所
 すべての場所
 保留になっている場所
 特定の場所 変更...

検索キーワードや検索条件、検索する場所を指定して、[保存して実行]ボタンをクリックします。

Step4：コンテンツの検索を作成して実行する -2



検索名を指定し、[保存]ボタンをクリックします。



検索結果が表示されたことを確認します。

検索結果をエクスポート - 1

● 検索結果はエクスポートすることができます。

Microsoft 365 コンプライアンス

株式会社〇〇関連データ > コア ED > 検索 : 契約書データの検索

ホーム 保留リスト 検索 エクスポート Advanced eDiscovery に切り替え

保存した検索に戻る

+ 新しい検索 | 保存 | 開く... Advanced eDiscovery に対する準備 その他 ▾

検索クリア

コンテンツの検索でキーワードと条件を使用する方法のヒントについては、[ここをクリックしてください。](#)

キーワード
契約書

キーワード一覧を表示

+ 条件の追加

インデックス作成済みの結果の推定総数 5 件中

レポートのエクスポート (B) ①

結果のエクスポート

Koshin製本サービス様契約書
日付: 2019-10-12 12:20:00 | 送信者/作成者: 西嶋 恒介;甲田 章子
種類: docx

Koshin製本サービス様契約書_F12ADD4B-7F81-47B7-8A04-53…
日付: 2019-10-12 12:20:00 | 送信者/作成者: 西嶋 恒介;甲田 章子
種類: docx

南部ホテルズサービス様契約書
日付: 2019-08-05 15:25:00 | 送信者/作成者: 奥薗 利美
種類: docx

Myプリントサービス様契約書_D6D5294A-172C-47FA-B888-268…
日付: 2019-08-05 13:48:00 | 送信者/作成者: 西嶋 恒介;SharePoint A…
種類: docx

場所: 保留になっている場所

[検索]タブで、[その他]-[結果のエクスポート]をクリックします。

このエクスポートを開始すると、検索結果をダウンロードできるようにするための準備が開始されます。検索結果のサイズによっては、この処理に時間がかかることがあります。[詳細情報](#)

取り込み対象:
検索可能なファイル: 契約書データの検索

出力オプション:

- すべてのアイテム (形式が認識できない、暗号化されている、またはその他の理由によりインデックスが作成されなかったアイテムを除く)
- すべてのアイテム (形式が認識できない、暗号化されている、またはその他の理由によりインデックスが作成されなかったアイテムを含む)
- 形式が認識できない、暗号化されている、またはその他の理由によりインデックスが作成されなかったアイテムのみ

形式を指定して Exchange のコンテンツをエクスポート:

- メールボックスごとに 1 つの PST ファイル
- すべてのメッセージを含む 1 つの PST ファイル
- 1 つの PST ファイルにすべてのメッセージを、1 つのフォルダーに入れて格納する
- 個々のメッセージ
- Exchange コンテンツに対して重複除去を有効にする
- SharePoint ファイルのバージョンを含めます
- ファイルを圧縮 (zip 形式) フォルダーにまとめてエクスポートします。個々のメッセージと SharePoint のドキュメントのみが含まれます。

概算:

数	サイズ	更新日時
検索可能なアイテム	5 件の結果	231.21 KB 2020/06/24 14:24:47
検索不可能なアイテム	0 件の結果	0 B 2020/06/24 14:24:47

エクスポートを開始すると、「契約書データの検索_Export」という名前の新しいエクスポート オブジェクトがエクスポート テーブルに作成されます。状態の表示と結果のダウンロードを行うには、[エクスポート] メニュー オプションを選択してください。

エクスポート キャンセル

[結果のエクスポート] ページで、出力形式などを指定して、[エクスポート] ボタンをクリックします。

検索結果をエクスポート -2

The screenshot shows two windows side-by-side. On the left is the 'Export' tab of the 'Core ED' section in the 'Microsoft 365 Compliance' portal. It lists a single export job named '契約書データの検索_Export' with a start time of '2020-06-24 14:37:06'. A red box highlights this entry. On the right is a detailed view of this export job titled '契約書データの検索_Export'. It includes buttons for 'Export again', 'Download results', and 'Delete'. The 'Export key' section contains a unique URL and copy/paste options, which are also highlighted with a red box. A large green arrow points from the left window to the right one.

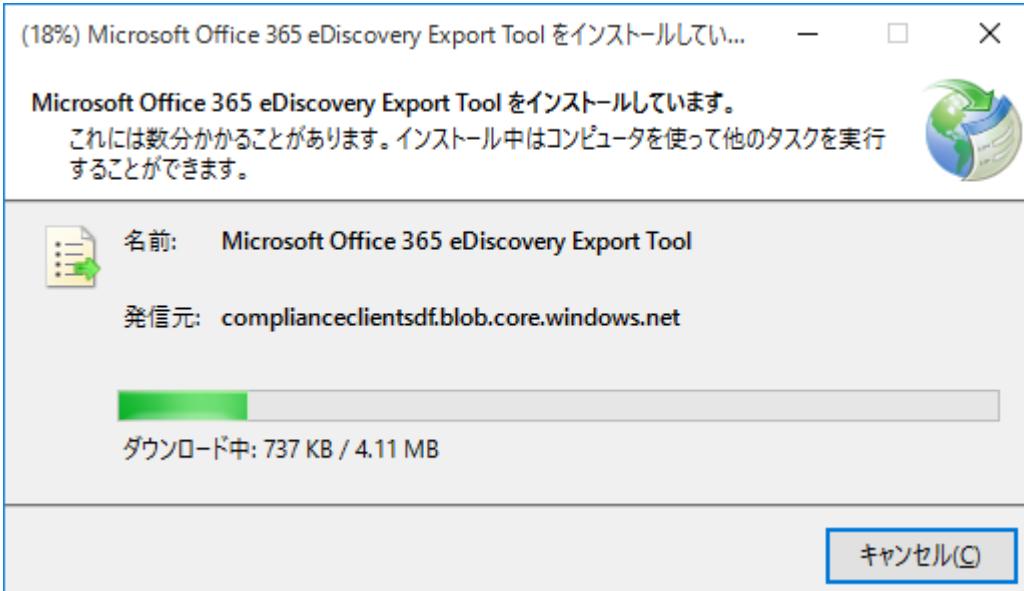
[エクスポート]タブをクリックし、作成されたアイテムをクリックします。

エクスポートキーをクリップボードにコピーし、[結果のダウンロード]ボタンをクリックします。

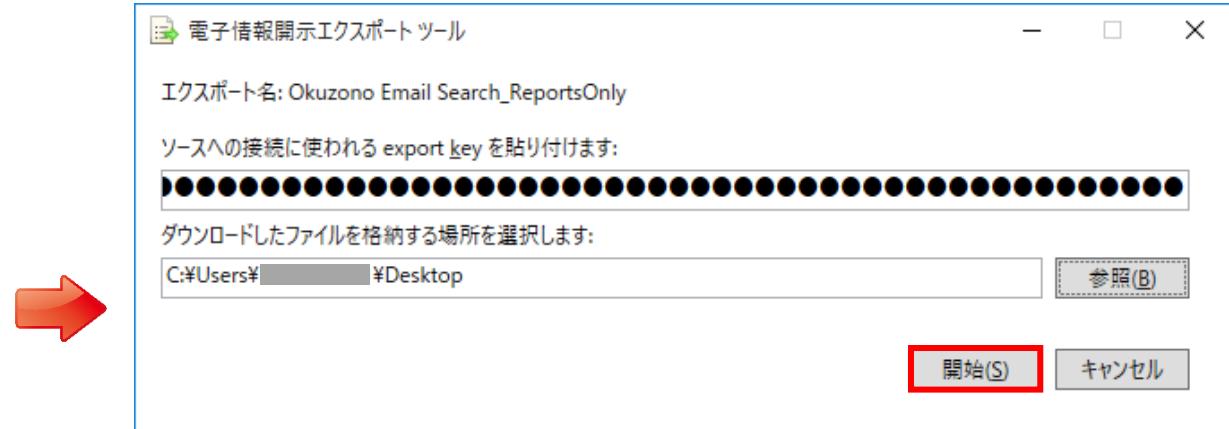


エクスポートキーはレポートをダウンロードする際に必要です。

検索結果をエクスポート -3



初めてのダウンロードの場合、自動的に[Microsoft Office 365 eDiscovery Export Tool]がダウンロードされ、インストールされます。



エクスポートキーを貼り付け、レポートの保存先を指定して、[開始]ボタンをクリックします。



この作業は、Microsoft Edgeもしくは、Internet Explorerを使用して行います。

基本的なeDiscoveryの次は



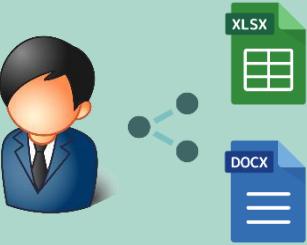
Advanced eDiscoveryを
紹介します。

5-2 Advanced eDiscovery

Advanced eDiscoveryの特徴

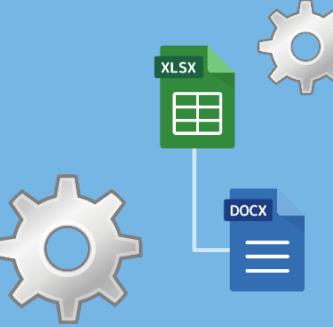
- 非構造化データのスマートな探索と分析により、関連データを迅速に特定します。

関連ドキュメントの特定と削減



一定量のMLへのインプットで関連するドキュメントと関連しないドキュメントを自動的に識別します。

データの関連性の特定



クラスタリング技術でコンテキスト内のドキュメントを確認し、関係性を把握します。

レビュー前にデータを編成、削減



準重複検出によってデータを編成し、非構造化データからメールスレッドを再構築、レビュー用に送信されるデータ量を削減します。
eDiscovery対応時等に弁護士費用を大幅削減できます。

参考：Microsoft 365の高度な電子情報開示ソリューションの概要

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/compliance/overview-ediscovery-20>

Advanced eDiscoveryの設定

Advanced eDiscoveryでは、コアeDiscoveryよりも詳細な設定を行うことができます。

The screenshot shows the Microsoft 365 Compliance interface for Advanced eDiscovery. At the top, there's a navigation bar with 'Microsoft 365 コンプライアンス' and a back arrow labeled '戻る'. Below it, the '機密情報' (Confidential Information) section has tabs for 'ホーム', 'カストディアン', '通信', '保留リスト', '処理中', '検索', 'レビュー セット', 'エクスポート', 'ジョブ', and '設定'. A red box highlights the '設定' tab, and a red arrow points from it to the text '各タブで詳細な設定を行えます。' (You can perform detailed settings on each tab). The main area contains four cards: 'カストディアン' (3 of 3), '伝達情報' (3 notifications sent, 1/3 confirmed), '最近のジョブの状態' (a chart showing four successful exports, one partially successful search analysis, and one successful index), and 'エラー' (0 password-protected files, 0 unknown file types).

各タブで詳細な設定を行えます。

各タブの内容 -1

- [カストディアン]タブ
関係者となるユーザーを追加します。
- [通信]タブ
カストディアンに対して通知を送信することができます。
- [保留リスト]タブ
保留したいコンテンツやサービスを指定します。
- [処理中]タブ
インデックスの作成結果などを確認できます。
- [検索]タブ
保留したコンテンツの検索を行うことができます。
サービスごとに何件の一致があったかを確認できます。

The screenshot shows the Microsoft 365 Compliance Center interface. The top navigation bar includes icons for Home, Custom Owners, Communications, Retention Lists, Processing, Search, and Review Sets. The 'Custom Owners' tab is currently selected, indicated by an underline. Below the navigation, there is a breadcrumb trail: 機密情報 > カストディアン. The main content area is titled '機密情報' and features a back button labeled '戻る'. A descriptive text at the top states: 'カストディアンに関連付けされたデータ ソースをすばやく識別して保持できるように、ユーザーをカストディアンとして登録します。' Below this, there are two buttons: '+ カストディアンを追加' and '最新の情報に更新'. The list of custom owners is displayed in a table format:

名前	メール
飯室 美紀	iimuro@ContosoK01.work
甲田 章子	Koda@ContosoK01.work
奥園 利美	Okuzono@ContosoK01.work

各タブの内容 -2

■ [レビュー設定]タブ

条件に該当するデータを表示したり、分析を行ったりすることができます。

■ [エクスポート]タブ

作成したレビュー設定の結果をもとにAzureにエクスポートします。

■ [ジョブ]タブ

分析や検索、レビュー設定へのデータ追加など実行中のジョブが一覧で表示されます。

■ [設定]タブ

ケース情報の設定やケースにアクセスできるユーザーの追加などケースに関する設定を行います。

Microsoft 365 コンプライアンス				
機密情報 > レビュー セット パスポート番号				
← レビュー セット				
このレビュー セットで処理中 ジョブが進行中です。そのため、検索と分析の結果に影響する場合があります。				
件名/タイトル	状態	日付	送信者/作成者	
営業部パスポート番号.pptx	○ 準備完了	2020/6/19 16:56:08	甲田 章子	
営業部パスポート番号.pptx	○ 準備完了	2020/6/19 16:56:08	甲田 章子	
海外出張関連.xlsx	○ 準備完了	2020/6/19 17:00:07	甲田 章子	
海外出張関連.xlsx	○ 準備完了	2020/6/19 17:00:07	甲田 章子	
総務部申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/19 17:04:00		
PowerPoint プрезентーション	○ 準備完了	2020/2/1 18:47:12	Akiko Koda	
営業部パスポート番号.pptx	○ 準備完了	2020/6/19 16:56:08	甲田 章子	
Rule detected - 少量のコンテンツが検出された 日...	○ 準備完了	2020/6/21 21:27:35	Microsoft Outlook <postmaster@ContosoK0...	
申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/16 11:48:00	甲田 章子	
海外出張関連.xlsx	○ 準備完了	2020/6/19 17:00:07	甲田 章子	
申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/16 11:48:00	甲田 章子	
Rule detected - 少量のコンテンツが検出された 日...	○ 準備完了	2020/6/22 17:26:54	Microsoft Outlook <postmaster@ContosoK0...	
総務部申請用パスポート番号.docx	○ 準備完了	2020/6/19 17:04:00		

レビュー セット

レビューセットでは、レビュー対象となったコンテンツの分析レポートを作成することができます。



最後に



Advanced Auditを紹介します。

5-3 Advanced Audit

Advanced Auditの特徴

- Microsoft 365のさまざまなサービスのさまざまな種類の監査済みアクティビティを可視化できます。
- 迅速かつ効果的なフォレンジックおよびコンプライアンス調査を強化することができます。

監査ログの長期保管

1 Year



Exchange、SharePoint、および Azure Active Directoryの監査レコードが1年間保持されます。

データアクセスの高速化



すべての組織には、最初に1分あたり2,000件の要求のベースラインが割り当てられます。この制限は、組織のシート数とライセンスサブスクリプションに応じて動的に増加します。E5組織は、E5以外の組織の約2倍の帯域幅を利用できます。

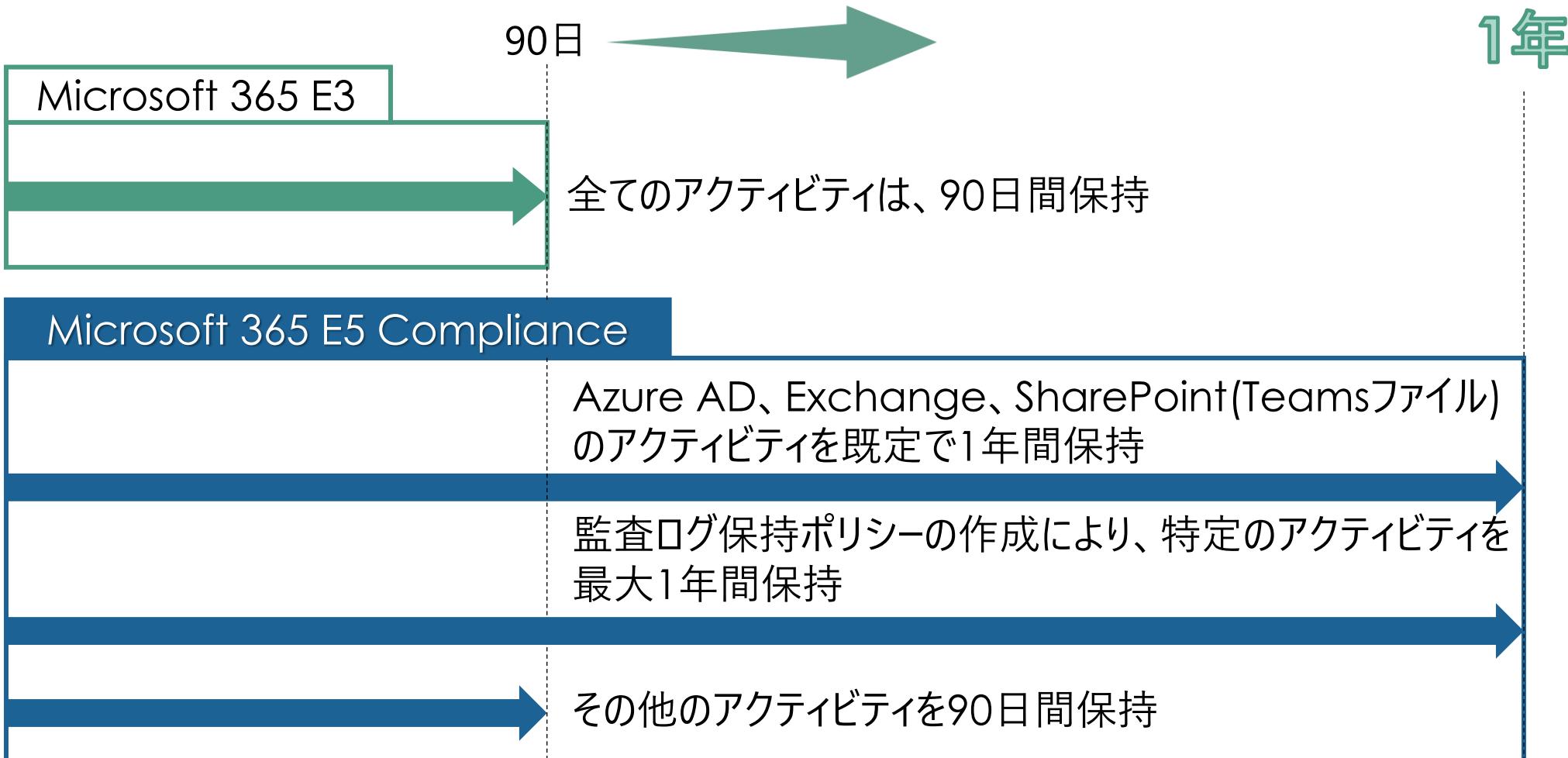
重要なイベントの監査



メールボックスアイテムへのアクセス監査アクションを新たにサポートしました。このアクションは、メールプロトコルとメールクライアントがメールデータにアクセスしたときにトリガーされます。

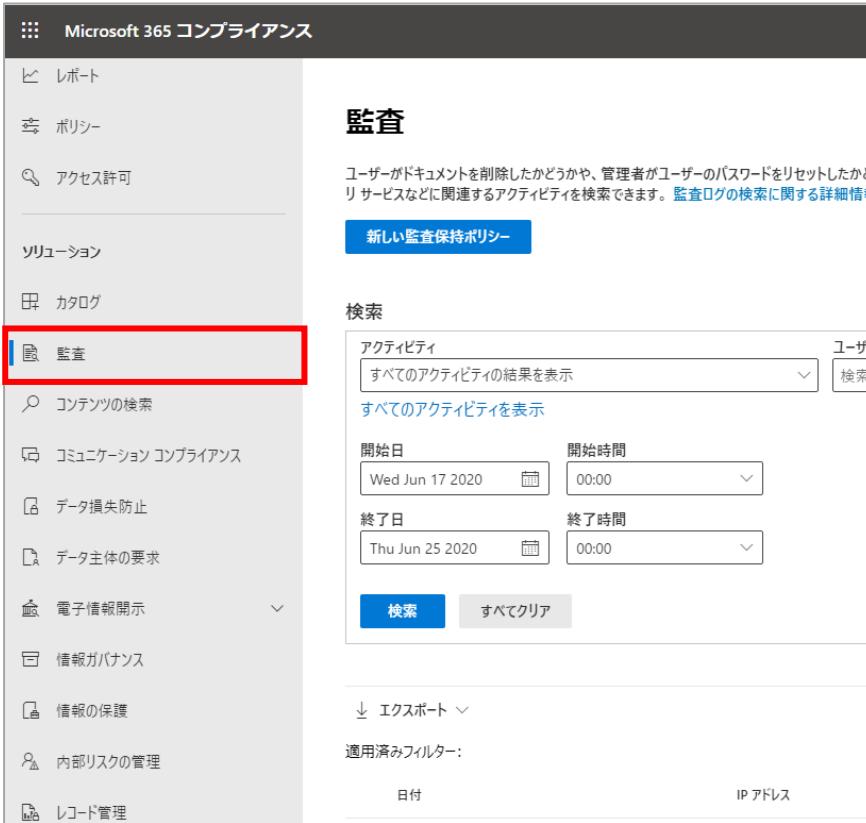
Microsoft 365のアクティビティログを最大1年間保持

- 保持要件に対して柔軟に保持期間を個別設定できます。



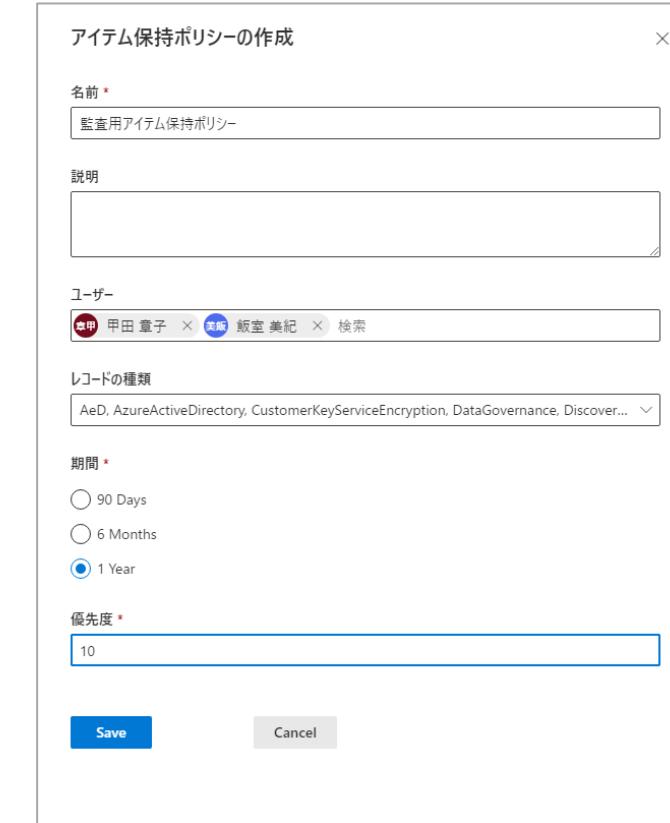
Advanced Auditの構成

 Advanced Auditは、次の手順で構成します。



The screenshot shows the Microsoft 365 Compliance Center interface. On the left, there's a sidebar with various compliance categories like Report, Policy, Access Audit, and others. The 'Audit' category is highlighted with a red box. The main area is titled 'Audit' and contains a search bar for activities, date range filters, and a 'Search' button. Below this is an 'Export' section with a dropdown menu and a 'Save' button.

[Microsoft 365コンプライアンスセンター]で、[監査]を選択し、[新しい監査保持ポリシー]をクリックします。



This is a 'Create item retention policy' dialog box. It includes fields for 'Name' (set to 'Audit用アイテム保持ポリシー'), 'Description' (empty), 'User' (set to '甲田 章子' and '飯室 美紀'), 'Record type' (set to 'AeD, AzureActiveDirectory, CustomerKeyServiceEncryption, DataGovernance, Discover...'), 'Duration' (set to '1 Year'), and 'Priority' (set to '10'). At the bottom are 'Save' and 'Cancel' buttons.

監査の対象となるユーザーや監査ログの保持期間、優先度などを指定して保存します。

監査ログの検索

[Microsoft 365コンプライアンスセンター]の[監査]から条件を指定して検索を行います。

The screenshot shows the Microsoft 365 Compliance Center interface. On the left, a sidebar lists various compliance categories: Report, Policy, Access Audit, Catalog, Audit (highlighted with a red box), Content Search, Communication Compliance, Data Loss Prevention, Data Subject Requests, Electronic Information Disclosure, Information Governance, and Record Management. Below this is a section for Other Resources.

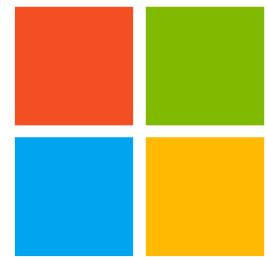
The main content area is titled "Audit". It contains a search bar with the following fields:

- Activity Type: メールボックスへのユーザーのサインイン、メールボックス アイテムへのアクセス
- User: 甲田 章子 (selected)
- File, Folder, or Site: ファイル名、フォルダ名、URL のすべてまたは一部を追加
- Start Date: Fri May 01 2020
- Start Time: 00:00
- End Date: Thu Jun 25 2020
- End Time: 00:00

Below the search bar are buttons for "Search" and "Clear All".

At the bottom, there is a summary: 150 個のアイテム and a "Filter" link. A table displays the search results:

日付	IP アドレス	ユーザー	アクティビティ	アイテム	詳細
2020年6月24日 15:43	[124.33.230.34]:9623	Koda@ContosoK01.work	メールボックス アイテムへのアクセス	Audit SearchResult Detail_MailItemsAcc...	
2020年6月24日 15:22	124.33.230.34	Koda@ContosoK01.work	メールボックス アイテムへのアクセス	Audit SearchResult Detail_MailItemsAcc...	



Microsoft

6

まとめ

改めて「コンプライアンス」とは？

Compliance

企業や組織が法令や規則を守ること。

法律や条例

個人情報保護法

近年ではコンプライアンスの範囲が
拡大しています。

品質データの偽装

不適切なSNSの利用

社会的責任
の履行

不正競争防止法



社内規定

労働基準法

守るべきものがたくさんあります。

インサイダー取引

社会的規範

社会的倫理

ハラスメント

なぜコンプライアンスが重要視されるのか

情報の価値に対する認識の変化

組織の機密情報には金銭的価値がある

- ✓ 退職予定の従業員が機密情報を持ち出し 

SNSが身近なものに

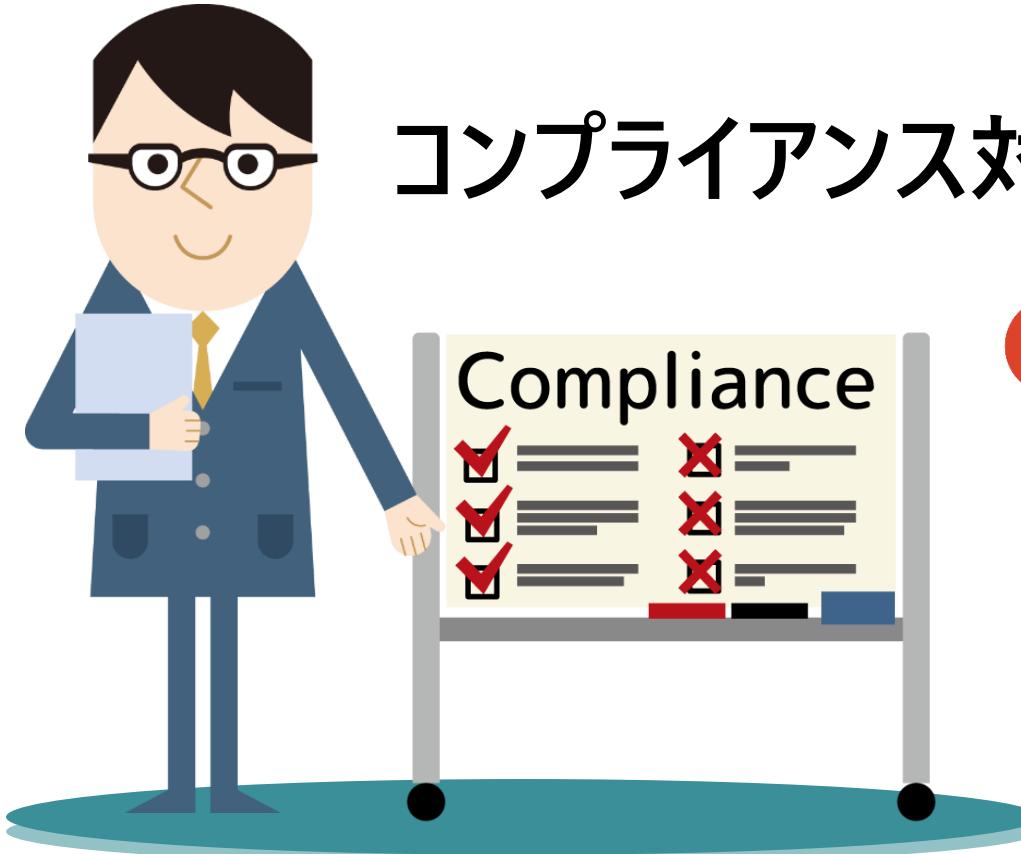
- ✓ 従業員による機密情報や個人情報の投稿 



！ コンプライアンス違反が発生

マスコミによる報道・インターネットへの公開・世間の批判
「もみ消す」ことは不可能

だからこそ



コンプライアンス対策は



最重要課題です！

Microsoft 365のコンプライアンス機能とライセンス体系

Microsoft 365のコンプライアンス機能とライセンス体系は次の通りです。

Power BI Pro

Audio Conferencing

Phone System

M365 E5 Security

Insider Risk Management

eDiscovery & Audit

Information Protection & Governance



M365 E5 Complianceを利用するには、
Office 365 E3とEMS E3が必要です。

Microsoft 365 E5 Compliance



前提要件

Office 365 E3

+

EMS E3

Microsoft 365のコンプライアンス機能

以下のサービスは、個別に購入することも可能です。

Microsoft 365 E5 Compliance

Insider Risk Management

- ✓ **Insider Risk Management**
内部不正検知ソリューション
- ✓ **Communication Compliance**
ハラスメントが含まれるメール、Teamsメッセージなどを検知
- ✓ Information Barriers
- ✓ カスタマーロックボックス
- ✓ 特権アクセス管理

任意のM365またはOffice 365が必要

Information Protection & Governance

- ✓ **Information Protection & Governance**
 - **Records Management**
組織の保持スケジュールをファイル計画に反映させ、保持、コード宣言、廃棄を管理
 - **Rules-based automatic**
自動情報ラベリングAIP P2
 - **Machine Learning-based automatic classification and retention**
マシン ラーニングで類似するドキュメントをマッチング
- ✓ **Microsoft Cloud App Security**
クラウド上での情報の共有ガバナンス
- ✓ **Communication DLP**
Teams上での機密情報のやり取りの制御
- ✓ カスタマー
- ✓ Advanced Message Encryption

AIP P1
任意のM365またはOffice 365が必要

M365 E5 eDiscovery & Audit

- ✓ Advanced Audit
- ✓ Advanced eDiscovery

任意のM365またはOffice 365が必要

Microsoft 365 E5 Complianceが提供する対策は

3つです！



Microsoft 365のコンプライアンスおよび リスクマネジメントソリューション

1



Insider Risk Management

重要な内部リスクを特定し、
対策を講じます

2



Information Protection & Governance

データのライフサイクルを通じて
データを保護し、統治します

3



eDiscovery and Audit

関連データの迅速な調査と
対応を可能とします



Compliance Management | コンプライアンスの簡素化とリスクの低減

3つの機能を管理するツール

Microsoft 365 Complianceセンター

<http://compliance.microsoft.com>

The screenshot shows the Microsoft 365 Compliance Center interface. On the left, there's a navigation sidebar with links like Home, Compliance Score, Data Classification, Data Connect, Alerts, Reports, Policies, Access Permissions, Solutions, Catalogs, and more. The main content area is divided into several sections:

- Microsoft Compliance Score**: Displays a large blue circle with a white percentage, currently at 75%. Below it is a bar chart showing progress across various compliance categories: Information Protection (0/427), Information Management (0/119), Access Control (0/498), Device Management (0/729), Privacy Protection (0/381), Detection and Response (0/247), and Internal Risk Management (0/56). A legend at the bottom indicates that blue represents the current score and grey represents remaining points.
- Solution Catalog**: Headed by "Compliance Needs Addressed by Solutions". It features a grid of icons representing different solutions, with a call-to-action button "View all solutions in the catalog".
- Cloud App Compliance**: Headed by "Cloud App Compliance". It lists regulations: GDPR, HIPAA, ISO-27001, SOC1, and FINRA. A legend indicates orange for non-compliant apps and green for compliant ones.
- Most Shared Files**: Shows a list of users and their file sharing activity. The top entry is nishijima@contosok01.work with 23 shared files.

Microsoft 365のインサイダーリスク対策

● Insider Risk Management

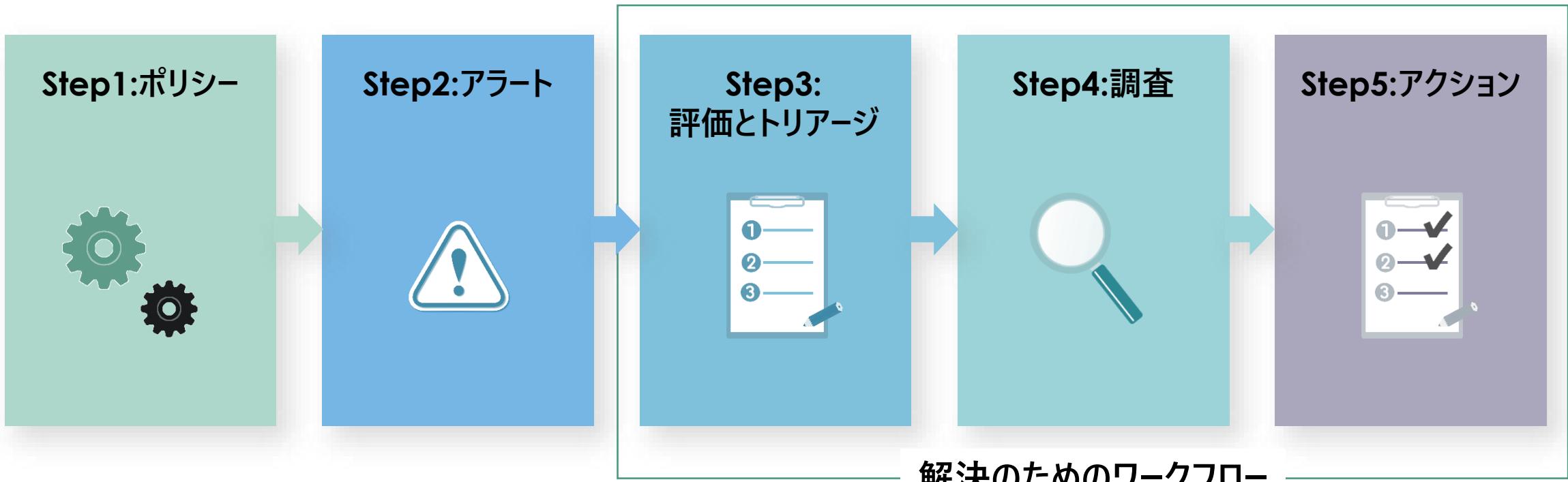
● Communication Compliance

2つのソリューションが
あります！



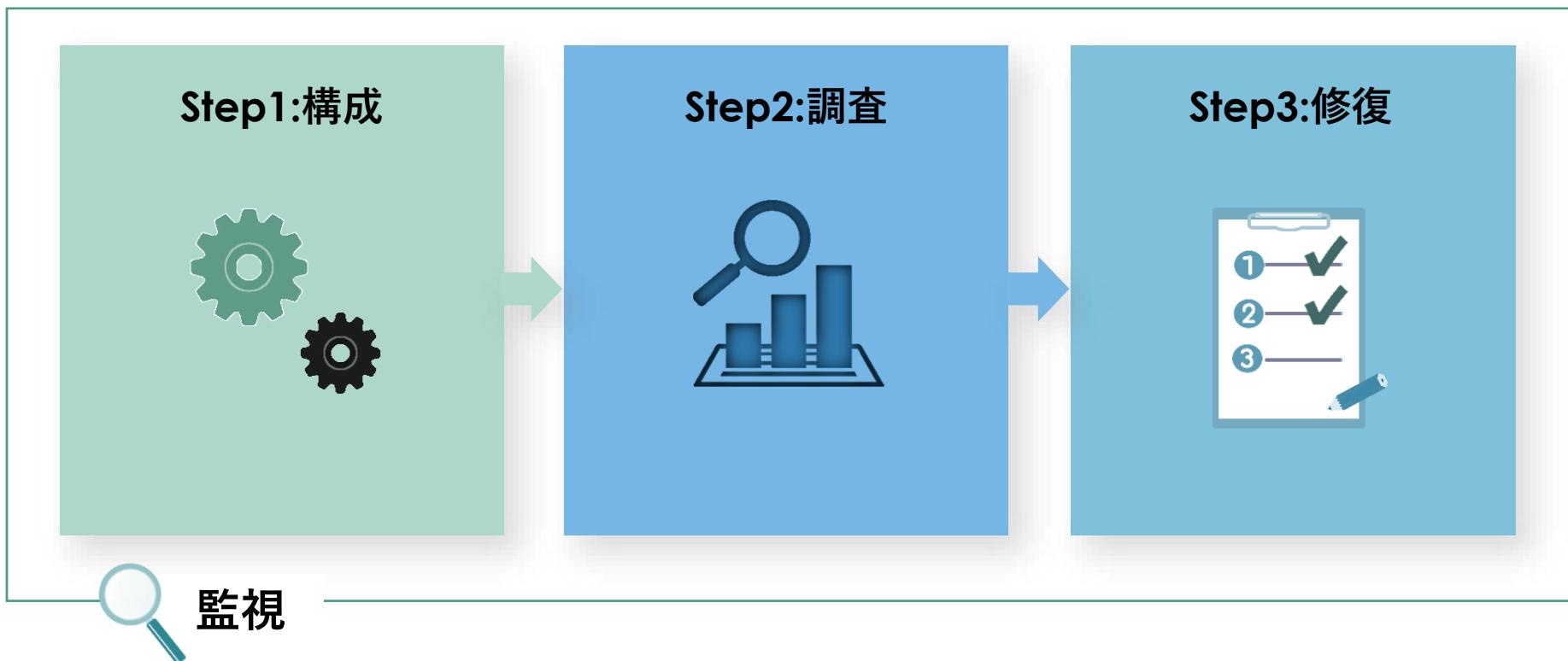
Insider Risk Managementのワークフロー

 Insider Risk Managementでは、組織内部のリスクに対処するために次のワークフローを使用します。



Communication Complianceのワークフロー

Communication Complianceでは、コミュニケーションリスクに対処するために次のワークフローを使用します。

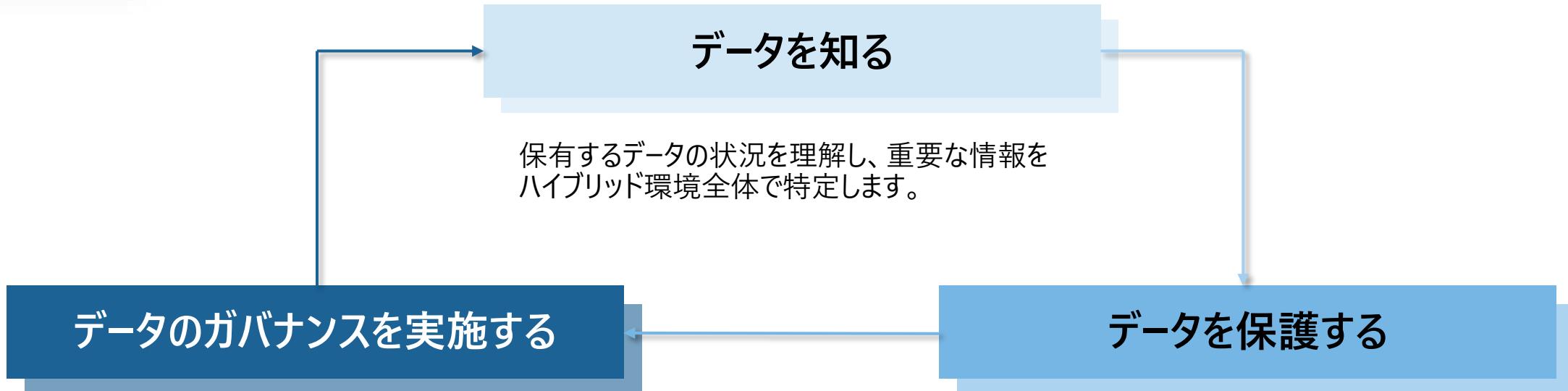


Information Protection & Governance(情報保護とガバナンス)



Information Protection & Governance

データの格納場所と移動先で、データを分類し、保護、保持します。



コンテンツのライフサイクルを、Microsoft 365の機能を使用して管理します。

ビジネスに不可欠なデータをインポートして保存し分類します。必要なものを残し、そうでないものを削除します。

機密データを、そのライフサイクル全体にわたって保護するために機密度ラベルを使用します。このラベルは暗号化、アクセス制限、視覚的なマーキングなどの保護アクションにリンクされます。

eDiscoveryとは

- 訴訟に関する資料を自らが収集し、開示する制度のことで、米国民事訴訟の手続きのひとつです。
- 米国民事訴訟手続きは、次のプロセスで行われます。



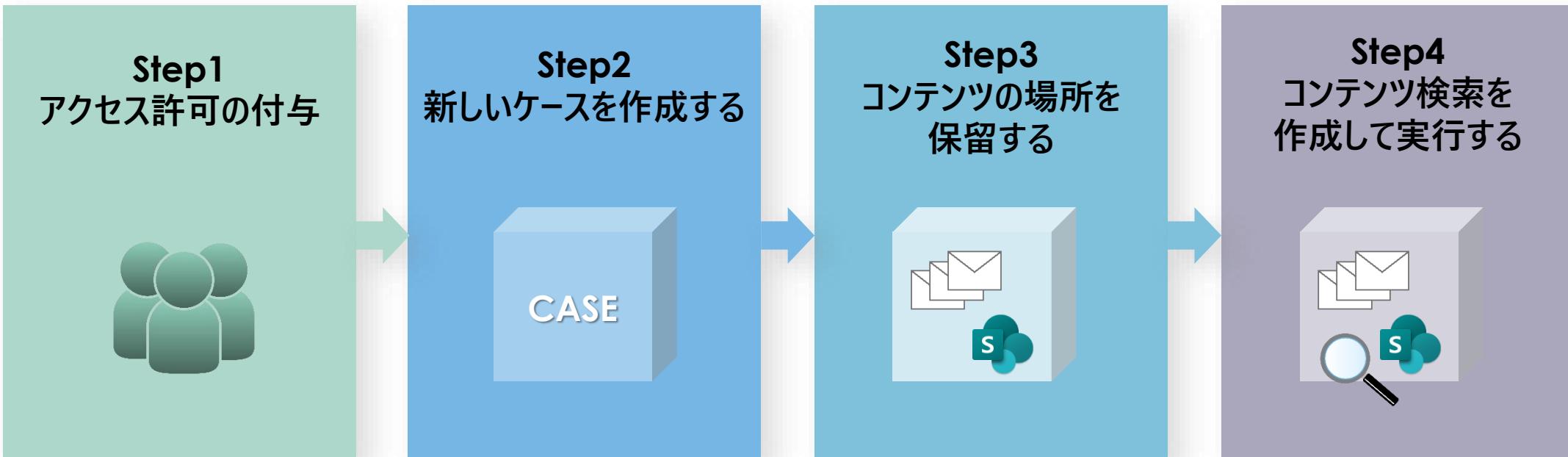
!
米国に拠点のある会社や米国企業と取引をする会社、ドル取引をする会社などが対象になるため、米国に拠点がなくても対象となります。



過去20年分もの情報開示を要求される場合もあります。

コアeDiscoveryの構成プロセス

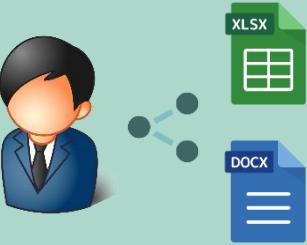
- コアeDiscoveryを使用すると、訴訟で証拠として使用する電子的情報を検索したり、保留したりすることができます。コアeDiscoveryの構成手順は次の通りです。



Advanced eDiscoveryの特徴

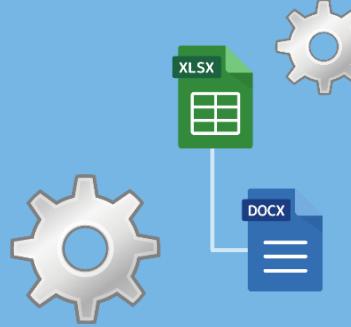
- 非構造化データのスマートな探索と分析により、関連データを迅速に特定します。

関連ドキュメントの特定と削減



一定量のMLへのインプットで関連するドキュメントと関連しないドキュメントを自動的に識別します。

データの関連性の特定



クラスタリング技術でコンテキスト内のドキュメントを確認し、関係性を把握します。

レビュー前にデータを編成、削減



準重複検出によってデータを編成し、非構造化データからメールスレッドを再構築、レビュー用に送信されるデータ量を削減します。eDiscovery対応時等に弁護士費用を大幅削減できます。

参考：Microsoft 365の高度な電子情報開示ソリューションの概要

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/compliance/overview-ediscovery-20>

Advanced Auditの特徴

- Microsoft 365のさまざまなサービスのさまざまな種類の監査済みアクティビティを可視化できます。
- 迅速かつ効果的なフォレンジックおよびコンプライアンス調査を強化することができます。

監査ログの長期保管

1 Year



Exchange、SharePoint、および Azure Active Directoryの監査レコードが1年間保持されます。

データアクセスの高速化

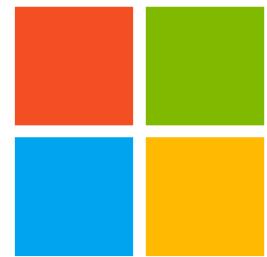


すべての組織には、最初に1分あたり2,000件の要求のベースラインが割り当てられます。この制限は、組織のシート数とライセンスサブスクリプションに応じて動的に増加します。E5組織は、E5以外の組織の約2倍の帯域幅を利用できます。

重要なイベントの監査



メールボックスアイテムへのアクセス監査アクションを新たにサポートしました。このアクションは、メールプロトコルとメールクライアントがメールデータにアクセスしたときにトリガーされます。



Microsoft